

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第5区分  
 【発行日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【公開番号】特開2002-87292(P2002-87292A)

【公開日】平成14年3月27日(2002.3.27)

【出願番号】特願2000-275372(P2000-275372)

【国際特許分類第7版】

B 6 2 D 5/04

【F I】

B 6 2 D 5/04

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月9日(2004.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

フロントフレーム32は、フロントボディA前部、前輪10, 10、ハンドル回動軸60、フロントサスペンションなどを支持している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

すなわち、フロントサスペンションとして、フロントフレーム32の前部と後部との下側面部は、左右サスペンションアーム68の基端部に二箇所ずつある揺動軸68aを揺動自在に軸支する。また、前記サスペンションアーム68は左右のそれぞれの基端部に前記のように揺動軸68aが2カ所づつあり先端部が一か所の二股形状(ウィッシュボーン形状)になっている。前記サスペンションアーム68の先端部には、前輪10, 10を回動自在にかつ左右に揺動可能に軸支する前輪ブラケット68bが設けられる。また、前記サスペンションアーム68の上方にはフロントフレーム32の上部に溶着固定された概略逆L字形状のサスペンションブラケット70の上腕部が位置しており、サスペンションアーム68とサスペンションブラケット70上腕部間にスプリングとダンパー等からなるクッショニングユニット72が連結されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

実施形態において、操舵機構64は、ハンドル回動軸60とステアリングシャフト82の回動軸とが上下にほぼ同一線上に並ぶように配設されたものにするので、従来のステアリング装置でステアリング軸が直線的に配設されているものに対して、容易に付け変えることができる。